



○ 草の根パートナー型

平成22年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ミャンマー
2. 事業名	ミャンマー連邦共和国南シャン州 循環型共生社会の自立発展～循環型農業を核とした農民のエンパワーメント事業
3. 事業の背景と必要性	<p>実施団体である特定非営利活動法人地球市民の会は2003年10月より現地において、循環型農業を核とした持続可能な『循環型共生社会』を創造すべく活動を行ってきた。その結果、循環型農業の普及率や住民の認知度・関心度はある程度高まったという成果はあるものの、次のような課題、ニーズ等を住民から抽出することができた。</p> <p>1. 循環型農業の継続と普及 循環型農業のよさを実感しているものの、有機資材の不足と価格高騰により、循環型農業を継続できない。</p> <p>2. 有機作物市場の現状 以下のような理由から農民の所得水準を上げることが困難である</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 有機作物と慣行栽培作物の差別化ができていない 2) 中間流通業者による価格決定（生産者と消費者の直接販売チャネルがない） 3) 輸送コストの高騰 <p>上記課題解決のために、以下の対策が考えられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> a) 農民間で技術移転を行うことで、循環型農業を引き続き普及し、生産性と質を向上させる。 b) 輸送コスト削減と、中間業者の搾取を防ぐため、農民参加の共同集荷、出荷システムを構築する。 c) 農民リーダー組織をつくり、循環型農業の知識やマーケティングのスキルを習得する。 <p>本事業では、これまで実践してきた循環型農業の普及を土台としながら、循環型農作物を作ることで収入向上につながるシステムを構築する。</p>
4. 事業の目的	住民自身で、循環型農業を用いた協同生産及び協同出荷システムを運営できるようになる。
5. 対象地域	南シャン州タウンジーTS（タウンシップ）、チャウタロンTS、ニャウンシュエTS
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	モデル地区（セレー、ナウンカ、ハムシー、ニャウンシュエ）の農家約7,000戸
7. 期待される成果及び活動	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モデル地区の農家において、循環型農作物の生産力が向上する。 2. 循環型農作物を協同出荷するための体制ができる。 3. 協同生産、協同出荷体制の運営を担う人材の能力が向上する。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 循環型農業普及と育成、循環型農業研修実施、農業灌漑省・MASとの連携有機資材協同生産場の設置。 2. 市場調査の実施、集荷場の建設、協同集荷体制整備、流通ルートの確保、アンテナショップの設立・運営、販路の開拓、広報活動。 3. コミッティ責任者の能力強化、流通専門家の育成、日本招聘研修の実施。
8. 実施期間	2012年4月～2015年 4月（3年）
9. 事業費概算額	46,190千円
10. 事業の実施体制	日本：地球市民の会理事会－ミャンマー委員会－事務局（本部、タウンジー） 相手国カウンターパート：国境省（PBANRD）/ パーオ民族自治組織（PNO / Pho National Organization）
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 地球市民の会
2. 活動内容	I 国際協力（タイ、スリランカ、ミャンマーにおける教育支援、農村開発事業など。その他緊急支援。） II 国際交流。 III 地域づくり。 IV 地球共感教育。